

— 風險快報 —

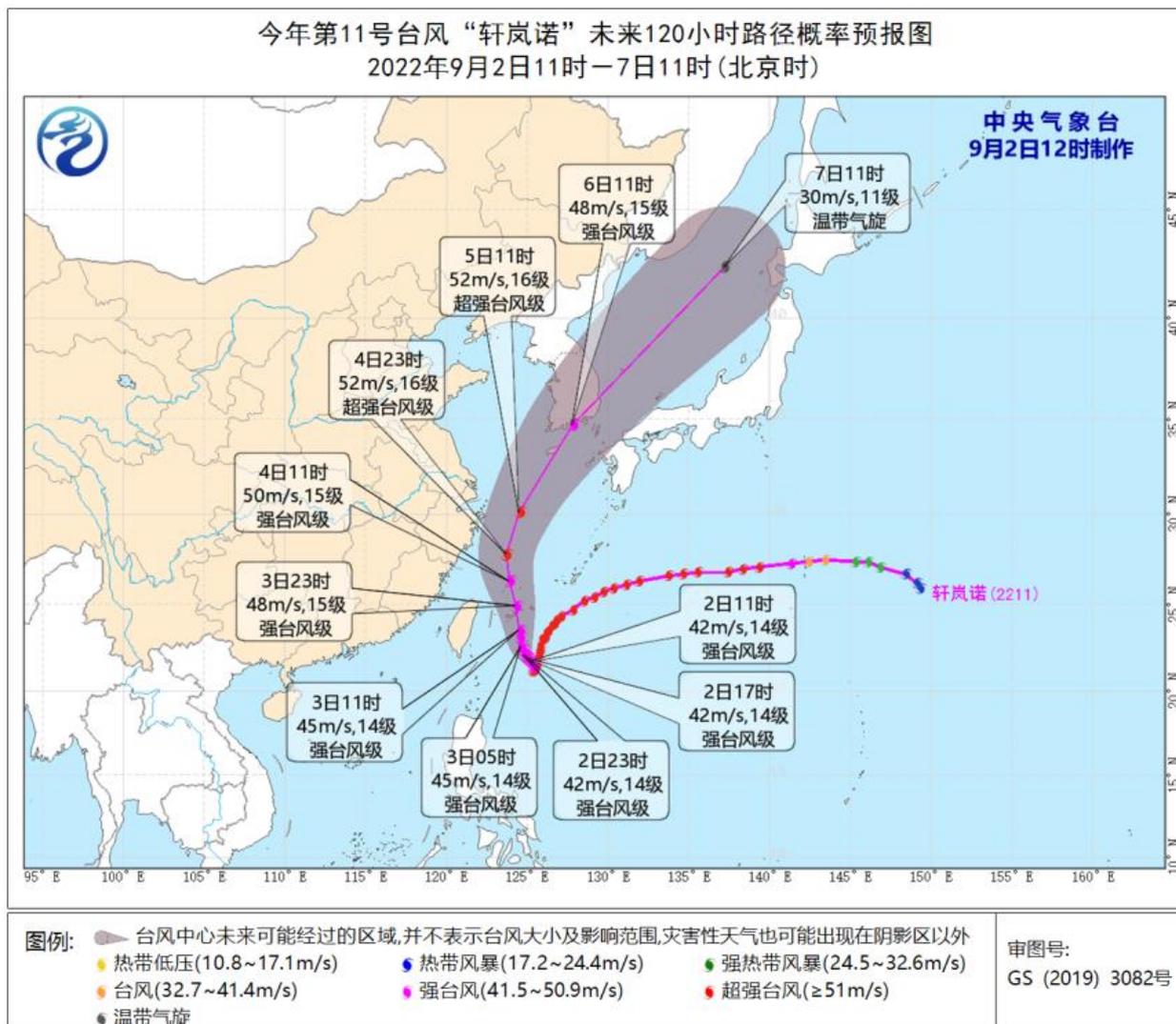
台風速報

2022年9月2日発表-台風11号「軒嵐諾」が江蘇省浙江省沿岸に接近！

台風11号「軒嵐諾」(強台風級)の中心は、2日午前9時時点で、浙江省舟山市朱家尖島の南東約980キロの海上に位置しています。中心付近の最大風速は14級(45m/秒)、最低気圧は950hPaです。また、7級風圏の半径は240~280km、10級風圏の半径は110km、12級風圏の半径は50kmと予測されています。

今後3日間、「軒嵐諾」は進路を変えて北上し、強度が再び強まる見通しです。特に4日夜から5日朝にかけて、浙江省近海で急激に発達し、最大風速が10~12級に達する可能性があります。長江の河口域、杭州湾、浙江省北東部、上海および江蘇省南東部等の沿岸に位置する企業は、事前対策が必要となります。**風が強い状態が長期化する可能性があるため、風水災による被害を防止(低減)するための対策を講じることが重要です。風の影響を受けやすい構造物は、事前補強、撤去などの対策を講じ、屋外保管物についても適切に配置することをお勧めします。**

中央气象台が9月2日12時に発表した予想図は以下の通りです。



最新の台風情報をリアルタイムで確認するには、スマホから右の QR コードを読み取って、中央気象台の「台風進路予想図」を参照してください。



緊急対応策についてのアドバイス

効果的に台風被害を防止・軽減するためには、台風が来る前に各種対策を十分に行っておく必要があります。下記に基本的な点検項目を記載しますので、ご参考ください。

分類	項目	確認	
建物等	屋根	屋根の防水層の劣化や亀裂の点検・修理ができていないか。 (特に過去に浸水、漏水があった場所)	
		カラー鋼板等の接合部位に緩みや反り上がりがいないか。	
		屋根の排水溝や下水道に詰まりはないか。	
		避雷設備(避雷針、引き下げ線、接地極など)を点検しているか。	
		屋根周辺の風の影響を受けやすい部位に変形や捲れ、ネジの脱落がないか。	
	外壁	外壁にひび割れや剥がれがないか。留め付け金具に緩みがないか。	
	窓、ドア	風の影響を受けやすい窓やドアはしっかり固定されているか。	
		窓やドアにひび割れや破損がないか。破損している箇所は修復されているか。	
		面積が広い窓ガラスは、木板を打ち付けて補強する対策が取られているか。	
		ガラス割れ・飛散防止に、テープを貼り付ける等の対策が取られているか。	
	シャッター	耐風性を高めるため、支柱を設置するなどの補強を行っているか。	
		ガイドレールに腐食がないか。シャッターをスムーズに開閉できるか。	
	仮設建物	水濡れの恐れがある仮設建物に、貨物や生産設備等を保管していないか。	
	屋外	屋根の看板、排気管、吊り物などを補強し、強風で倒れないように固定措置を行っているか。	
敷地内の旗竿、カーポート、樹木などの補強を行っているか。			
貨物、在庫品等	屋内保管	在庫は外壁、窓から少なくとも0.5メートル離れているか。	
		屋内の配水管の直下に重要な設備や在庫品が置かれていないか。	
		高価な精密機器設備や原材料、製品等は、パレット上に置くなどして少なくとも30cm以上嵩上げしているか。	
		屋外の水が屋内へ浸入するのを防止するため、作業場、倉庫、電力設備などの建物入口に十分な土のうや遮水板(20cm以上)を設置しているか。	
		緊急時に物資を守るための防水シート・カバーなどを用意しているか。	
		重要な生産データ等はバックアップを安全な場所に保管しているか。	
	屋外保管	台風が来る前に、屋外の保管貨物を屋内の安全な場所に移動させているか。	
		強風で飛ばされやすい保管物について整理整頓、清掃を行っているか。	
		屋内への移動が難しい保管物は防水シートでカバー・固定しているか。	

排水等	排水ポンプと十分な燃料を準備しているか。	
	構内の水が溜まりやすい場所（土地が低い箇所、排水管の径が不十分な箇所など）を把握しているか。水が滞留した場合の対応を検討しているか。	
	建物周辺・屋上の排水溝は詰まっていないか。	
	外部の排水が構内に流入しないよう、公共の排水システムに繋がる排水系統に、排水の逆流防止バルブを設置しているか。	
緊急対策	気象情報や、工場周辺の河川や湖の水位上昇をモニタリングしているか。	
	緊急対応チームを組織し、役割を明確にしているか。チームメンバーには、災害警戒要員、緊急指揮要員、災害救助要員、事後復旧要員が含まれる。	
	気象警戒レベルに沿った行動プランを整理しているか。（例：青色暴雨警報＝工場の屋根の状況を点検開始 赤色台風警報＝生産停止に備えた準備を開始し、人員を移動する等）行動プランを文書化し、社員に周知しているか。	
	屋内パトロール計画を策定し、屋根の漏水状況、排水管の排水状況、地上の冠水状況などのチェックし、適宜報告するルールがあるか。	
従業員避難 防災訓練	構内が広く浸水した場合を想定した避難に関する教育や訓練を実施しているか。	
災害復旧計画 (BCP)	ハード面の対策に加え、災害が発生した後の早期復旧を行うための対応手順や、工場が被災して生産不能となった場合の代替生産の可否などについて検討しているか。	

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）

上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心34楼 T10 室-2

TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）



瑛得公众号